

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

和光電機通信工業株式会社

村山市にある和光電機通信工業株式会社の若手社員、外崎龍之介さん取材しました！
外崎さんは、東北工業大学知能エレクトロニクス学科を卒業した後、2017年に入社しました。現在は、本社事業部で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。



和光電機通信工業は、主にネットワーク構築のための①システム設計、②工事、③試験・保守を行う企業です。その中で私は高速道路での仕事を担当しています。皆さんに馴染みのあるものというと、高速道路のETCや、「通行止め」などの情報や速度を表示する電光掲示板の保守・点検・更新などを主に実施しています。

——高速道路でのお仕事というと、県外出張も多いのでしょうか。

現在は山形県を担当していますが、去年は福島県の郡山市に行っていましたね。場所と仕事内容によって日帰りか、泊りになるかが変わってきます。作業が1日だけであれば日帰り、3日間あるなら2泊3日という感じで。私自身がこれまで一番遠くまで行った時は、北は青森県のむつ市。南の方だと、栃木県の小山市になります。

———こういったお仕事をやるにあたって必須の資格はあるのでしょうか。

当社は、現在「第二種電気工事士を全員取得」という方針があるので、最初に私は第二種電気工事士を取得しました。

資格は学生のうちに取っておいたほうがいいですね（笑）。就職すると時間がないので…学生の時に取っておけばよかったなと後悔しています。恥ずかしい話ですが学生時代は全然資格とか興味なくて（笑）。「取っておいたほうがいいよ」とは話には聞いていましたが、実際働いてから「もっと学生時代頑張っておけばよかったなあ」と後悔するタイミングが多いです。

———実際に働いてみて、例えば他の人に伝えるときでも自分で思っていることでもいいのですが、この会社のアピールポイントはどんなところですか。



「影の立役者」じゃないですけど、表立ってこれをしているよと言ってもあまりピンとこない部分が多い仕事内容なのかなと思っています。それでも、プライベートで高速道路を利用した時に、自分が作業した機器が実際に動いているところを見ると、「ああ動いているなあ」と思いますし、「自分が付けたカメラついているな」と分かることもあります。

目に見えるものは自分が携わったという実感が持てるし、目に見えないものでもみんなが何気なく使っているところを見て、ちょっといい気分になれる。そこが良いところです。

(2) 職場編

——和光電機通信工業に就職を決めたきっかけは何ですか。

当社を知ったのは大学の合同企業説明会でした。その時には就職を機に山形に帰ろうと決めていたので、実家近くの企業をいろいろピックアップしていました。当社の最初の印象は「休日が多いな」でした。現場職というか建設の仕事とかは土日も働いているイメージがあったので、なんでこんなに休みが多いのだろうと率直に思いました。



実際に会社説明会に参加して、総務の武田部長から「仕事とプライベートをきちんと分ける」という話を聞き、働いている人たちの姿を見て人間関係がよさそうだし、みんな楽しそうに仕事をしているなというのが印象的で、ここに決めました。

——入社して良かったところはありますか。

一番は休みが多いことです。皆さんが想像している以上に有給休暇と代休がとりやすいです。私はここが最初の会社なので、他の会社のことはあまりわかりませんが、友達と話していると、「なんでそんなに休めるの？」とすごくびっくりされるので、そんな時、休みを取りやすいなというのを実感します。「子どもが熱を出した」で急遽休んでも「旅行に行く」という理由で長期休暇をとっても「あの人が今日来られないから、こうしよう」とか、「あの人来週休みだからここはこうしようね」とか。全員で助けあっているところも雰囲気の良い職場だなと思います。



もうひとつは、上司とも気兼ねなく話せることです。当社は本当に優しい人しかいないので他愛もない世間話も仕事の話も誰とでも気軽に話せるのはとても魅力的だと思います。仕事になるとみんなスイッチが入るので、入社当初はそのギャップにすごく驚きました。これも「仕事とプライベートをきちんと分ける」につながるのかなと思います。そういうメリハリのよさも勉強になります。締めるところは締めて、楽しむところは楽しむというところですかね。

人間として成長できる部分ではあるかなと思います。

——これから先も職場を変えずにずっと勤め続けたいという思いもあるのでしょうか。

はい。当社の雰囲気や崩さないように、今後この会社に入ってくる人も自分と同じように感じてもらえる職場づくりをしていけたらなと思います。今年初めて新入社員の教育係になったので、まずはその役目を全うしたいです。後輩をまとめつつ、自分のスキルアップも目指していきたいです。さらに、今担当している案件以外にも幅広い知識を身に付けて、オールマイティな社員になれたらなと思います。

——オールマイティな社員にということですが、会社の中でのジョブローテーションなどはあるのでしょうか。

基本的には今担当している仕事をほとんど専任で担当していくことになるのですが、やっぱり合う、合わないがありますので…そんな時に「ちょっと別の業務をやってみたいです」と上の人に伝えると、すごく寄り添って意見を聞いてくれて業務が変わるということもあります。社員一人一人の気持ちを汲み、実際に動いてくれるというところも、当社の魅力でもあるのかなと思います。

——会社概要には、安全大会というものが記載されています。これはどのようなものでしょうか。

年に一回全社員が村山市に集まって昨年度発生した事故情報等を共有し、皆が安全意識を高め合える活動を行う会です。最後に懇親会もあって普段話す機会の少ない他の事業所の人と交流できる場でもあります。

各事業所の配属されていた同期のみんなとはここで久しぶりに会うので「今こんな仕事しているよ」と近況を話すことも結構多いですね。



——研修はどのようなものでしょうか。

入社して最初の週は新入社員全員で名刺交換、挨拶、電話の対応といったビジネスマナーから、各提出書類の出し方など共通する研修を行います。そのあと各事業所へ配属され事業所ごとの研修になります。私が配属された本社事業部では工具の使い方から材料の説明など基礎の基礎から教えてもらい実際に自分で作業してみるという研修でした。

——先程「新入社員の教育係になった」と伺いました。こちらは具体的にはどのようなことをするのでしょうか。

新入社員 1 人につき教育係が 1 人、2 年間付きます。基本的には同じ現場と一緒に行って作業を教えるのが主な仕事です。1 年経って担当業務が変わり、2 年目からは別の人が教育係になる場合もありますがやることは変わりません。



——教育係として工夫していること、大変なことはどのようなことでしょうか。

押し付けないことを意識しています。成長してほしいという気持ちはありますが、その気持ちが早まってしまうと、やってほしいことの押し付けになってしまいます。そうならないように、本人の意思を尊重しながら教えるようにしていますね。ただ本人の顔色は窺わずに気持ちだけ汲み取って私の思いが伝わればよいなとは思いますが。あとはどうしても専門用語が多くなってしまうので、教えるときの工夫としては、何かに例えて説明したりするようにはしていますね。若い子にも分かりやすいような例えを出せるように意識しています。

あと入社当初からずっと言っているのは、「理由を考えてほしい」ということです。「このメール出しておいて」という些細な仕事でも、なんでメールを出すのか。どういう理由で出すのか。「この木を切っておいて」でも、なんで切るのかっていうのを考えながらやってほしいということは言っています。理由を考えると自然と間違いにも気づけるようになります。言われたからやるのではなく、「〇〇のために木を切る」。メールでも「誰にこういう意図を伝えるためにこのメールを出す」ということを考えて仕事をしてほしいと毎日言っています。

——これから入社してくる人たちのことで、どういった人と一緒に働きたいか、こういう人にこの会社向いている、というのはありますか。

とにかく、話せること、会話ができること。この会社に限ったことではないと思いますが、聞かれたことにちゃんと答えられるかということです。仕事柄、車の移動も結構あるので、そういうときに何でもいいので雑談ができたりするといいかもしれないですね。技術は自然と身に付いていきますし、当社には優しく教えてくれる人もたくさんいるので、基本的なコミュニケーションをとれるほうが重要だと思います。

(3) ある日の過ごし方編

●8:30 【出社】

現場のある日は、午前中から現場に移動します。現場のない日は事務作業や見積もりの作成を行います。



●9:00 【現場での業務】

通信装置の設置、配線作業をしています。



●12:00 【お昼休憩】

現場での作業の進行状況によってずれることもありますが、基本的に12時頃に昼食を取っています。遠くに出張する時には、あらかじめ名物を調べておいて食べに行くことがあります。

●13:00 【午後の作業】

午前中に引き続き作業を行います。16:00 くらいに現場での作業が終了します。



●17:00 【会社に到着】

片付けや次の日の準備をします。

●17:30 【退勤】



(4) むらやまでの暮らし編

——出身が山形県ということですが、大学が東北工業大学ということで一度県外に出ていますよね。その後に、地元である山形県村山地域への就職を決めたきっかけや決め手はどんなことだったのでしょうか。



山形が好きだったというのもありますが、私が就職活動をしていた大学3年生のとき母親に病気が見つかりました。私は両親と弟の4人家族でして、弟は埼玉の大学に行っていて、父は単身赴任をしていたので、母を助けたいなという気持ちで山形に戻ってきたというのが一番です。あとは自分の周りで大学に行った友達が少なくて、高校を卒業して県内に就職した友達が多かったので、それも1つの決め手ではありましたね。

——実際に山形県内に就職してよかったと感じることは何かありますか。

私はスイカがすごく好きで、祖母の家が大石田にあるのですが、スイカや果物が無限に一年中食べられることです。あとは自然が好きなので、景色のいいところが多かったりするのも魅力かなと思います。

——大学時代は宮城県で暮らしていたのでしょうか。

私の場合はちょっと特殊ですけど、大学3年生までは山形から通っていました。たまに友達の家泊ったり、また実家に帰ったりという感じで結構変則的でした。

——先ほど休みの日に資格のお勉強をされるということでしたが、それ以外に例えばアウトドアなど、自然の多い山形ならではの休日にはありますか。お勧めの場所があればぜひ教えてください。

アウトドアは興味ないので朝走ったりするくらいですが、私も妻もポケモンが好きで2人で公園に行ってポケモン GO をしながら歩いたりはしますね。

今住んでいる天童市は、公園が多いのいいと思います。それこそポケモン GO をしに公園に行ったりすると子どもと遊んでいる家族がすごく多いので。まだ子どもはいませんが子育てのイメージがしやすい場所だなと思います。

お勧めの場所としては、山形市にある悠創の丘です。すごく好きな場所で、結婚式の前撮りに使いました。朝も夜も違う景色があって、春も夏も秋も冬もまた全部違う景色がみられるのが魅力的で、妻と二人でよく行きます。



——山形は夏が暑かったり、冬は雪が多かったりしますが、そんな山形の不便なところの付き合い方はありますか。

もう、割り切って楽しむことですかね。自然が多いのでコテージに泊まりに行くこともあります。夏はBBQもできますし。私はウィンタースポーツをしませんが、好きな人からすれば思いっきり楽しめる環境だと思います。子どもももちろん雪遊び好きでしょうし、そういう環境だと受け入れて楽しめるポイントを探すことですかね。

——こういった不便なことから、山形を出て県外に行きたいと思ったことはありますか。

ないことはないですね。ですけど、強く思ったことはないです。妻が仙台市出身なので、結婚するときにどっちがどっちに行こうかという話にはなりました。そのときに転職サイトで仙台の企業を調べたりはしました。結果妻がこっちに来てくれたので現在も山形に住んでいます。そういう人生の転機などがない限りはあまり考えたことはないかもしれないです。

(5) まとめ編

——20年後の自分はどうなっていると思いますか。

20年後か(笑)。気持ちだけは若くいたいというのはあります。型にはまらず、下の人に慕われていたらいいな。今は会社の人と話しやすい、接しやすい雰囲気を作ってもらっているので、自分がその立場になったときにも話しやすい存在になれたらいいなと思います。あとは、自分が幸せでありますように、と。



——これから就活する学生へ向けて、メッセージをお願いします。

まずは後悔しないように。就職活動中で大変な思いをされる方も多いと思いますが、あきらめずに自分の中で大切にしたいこと一本の芯を持って取り組むことですね。辛いことが多いと「どうやったら就職活動が終わるか」と考える人も多いと思いますが、そうではなくて、「どうやって就職活動を終わりたいか」の意識を持つと少し見方が変わるかなと思います。その一本の芯は別にやりたいことでもなくてもいいと思います。休みが多いとか、お金が欲しいとかでもいいと思うので。何か一つ些細なきっかけで始めたことの中でもきっとやりたいことが見つかるので、それを大事にしてほしいなと思います。

——最後に、総務部の武田さんにもお伺いします。働きやすい職場づくりについて教えてください。

(武田さん)

職場の雰囲気が良く、仕事にやりがいをもって働けること、休みがとりやすいこと、休みを充実して過ごせることが働きやすい職場だと考えています。

仕事はしっかり頑張って、休日は趣味や家族と過ごす時間を大事にする等、オンオフのメリハリをつけて充実した日々を送ってほしいと思っています。年末年始、ゴールデンウィーク、お盆期間は比較的長期に休みやすいです。育児休暇等の制度もあります。

それから、毎年創立記念のイベントで開催しているボウリング大会（賞品総額〇十万円）やコロナ禍でしばらくできていませんが、会社で補助を出してのビアパーティや忘新年会の開催等、福利厚生にも力を入れています。



——外崎さんの周りで、育児休暇を取られた方はいますか？

(外崎さん)

育児休暇はまだ、子どもが生まれたばかりの人がいないので、取得した人はいないですね。でも出産したときはみんなで休ませようという雰囲気はあります。他にも、去年子どもが生まれた人はあまり遠い現場には入れないようにしようとか、出張がないようにしようとか、家庭面も考慮してくれることが多いです。小さい子がいるから早めに帰ってもいいよというのもたまにあるので、いい会社だなと思いますね。

———ありがとうございました！

和光電機通信工業株式会社さんは、社員一人ひとりの自主性を大切にしている会社だと感じました。自分で行動の理由を考えることを習慣づけていると聞き、人間的にも成長できる素晴らしい会社だと思いました。業界にしては珍しく休みの日が多いこと、家庭の事情にも配慮してくれるような雰囲気の良い職場であるということから、時代の変化にもついていけるような会社なんだろうと伝わってきました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 藤井遥香・高嶋乙羽・佐藤葉瑠紀】

和光電機通信工業株式会社

★ネットワーク社会を支え、生活にも欠かせない通信インフラに携わる仕事です。】

通信ネットワーク分野で高い信頼と高品質なサービスの提供に向け、社員一丸となって取り組んでいます。人間関係も良く、休暇の取得しやすさ、福利厚生等、働きやすさも魅力です。

- ・所在地 山形県村山市駅西 22-8
- ・設立 昭和 47 年 10 月
- ・従業員数 64 名（男性 60 名、女性 4 名）
- ・事業内容 通信ネットワークの設計、工事、試験、保守、メンテナンス
- ・URL <http://wako-denki.co.jp/>

